

平成三十年

各会派 基本方針

いばらき自民党



自民党
いばらき
議員会長
葉梨 衛

「克己の精神」で 新しい茨城づくり

わが党は昨年、八月の知事選と十月の衆院総選挙に勝利を取ることができました。平成三十年の年頭に当たり、改めて県民の皆さまのご支援の賜と感謝申し上げます。とくに、新しい年が県民の皆さま一人ひとりに幸多き年となりますよう心より祈念しております。

本年は、二十四年ぶりに誕生した新しい知事の下で、「活力があり、県民が日本一幸せな県」づくりが本格始動します。県政の責任政党であるいばらき自民党は、大井川県政をしっかりと支え、「チェンジ、チャレンジ」を選択した民意に、真摯に添えていく決意を新たにいたしましたところ。その第一弾として、我々は昨年暮れ、大井川知事は

とって初の新年度当初予算編成に向け、「日本一子どもを産み育てやすい県」の実現を基本方針とした「平成三十年度いばらき自民党重要政策大綱」を策定し、いばらきを「新しい茨城」を目指して取り組んでまいります。

総項目数は新規百六十五、修正七十一を含む二千五百六十九項目となり、総数、新規とも過去最多となりました。そこには、新しい茨城づくりに挑む覚悟を明確にした会派所属議員四十一名の熱い思いが詰まっています。

しかし、最重要課題である人口減少には特効薬はありません。多岐にわたる政策を総動員して取り組む難問だからこそ、我々は、いかなる障壁があろうと、敢然と立ち向かう「克己の精神」を肝に銘じ、一丸となって課題克服に邁進してまいります。

県民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

自民県政クラブ



自民県政
クラブ代表
江田 隆記

圏央道へのアクセス向上 四車線化に努めます

昨年は、圏央道県内区間の全線開通や、日野自動車古河工場の本格稼働など、本県の発展につながる画期的な出来事が重なる年になりました。自民県政クラブは、さらなる県勢発展を目指して圏央道沿線ICへのアクセス向上や、早期四車線化に向けて、これまで以上に取り組みを強化します。また、圏央道や常磐道などの広域交通

ネットワークや科学技術の集積など本県の強みを活かし、優良企業の誘致や本社機能の移転を促進し、質の高い雇用の創出に努めます。そして、子育て世代の医療費・教育費の負担軽減などの子育て支援や医師確保・介護人材確保に向けた対策の強化に努め、安心して暮らせる暮らしづくりを目指すと同時に、家庭教育支援の強化、就学前教育推進に向けた保幼小の円滑な接続など、子どもたちの育成に力を注ぎます。さらに、茨城国体・全国障害者スポーツ大会など、全国規模となる大きなイベントの成功に努め、本県の活力を高めていきます。

自民県政クラブは、本年も本県が飛躍する年になりますよう、全力で取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

民進党



民進党
茨城県
議員団代表
長谷川 修平

「希望と活力」の 好循環社会を目指す

あけましておめでとうございます。昨年の知事選において、大井川和彦氏が新たな茨城県知事に就任されました。県民の信任に応え、さらなる県勢発展のために「活躍されること」を、我々民進党県議員団としても大いに期待しております。

しかしながら、本県には人口減少問題をはじめ、待ったなしの課題が山積しているのも事実であります。

そうした中、私たちは県民の皆さまからいただいたご意見、ご要望をもとに、平成三十年度予算編成に向け、県北振興、医療体制の整備、子育てしやすい環境の整備と次世代を担う子どもたちへの支援などに重点を置いた、要望千九百項目を県政要望として取りまとめ、昨年末に大井川知事へ提出しました。

私たちは、教育・子育て支援の充実が人材育成や人口減少への歯止めなどに「希望」を与え、それがまた、地域の活性化や生産性の向上などに「活力」を与える。このような好循環社会を目指すことが、経済政策の上で大変重要と考えております。本年もそうした社会の実現に向け、新知事とも是非々々で政策判断を行い、なお一層力を尽くしてまいります。本年も県民の皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

公明党



茨城県議会
公明党
議員会代表
井手 義弘

変革と挑戦で 新たな茨城を

明けましておめでとうございます。今年も茨城の新たな出発の年になります。人口減少という本県がまだまだかつて直面したことのない深刻な課題に、私たちは新たな発想と行動で挑戦していかねばなりません。

茨城県は多様性と可能性に恵まれた県は他にありません。茨城県は、日本の縮図であり、未来創造のモデルと

なる県です。茨城の挑戦が、閉塞した日本の社会の殻を破るカギになると確信しています。時あたかも大井川知事が新たな茨城のリーダーに就任されました。「新しいいばらきを作ろう」との訴えが、多くの県民の支持を得ました。私ども公明党は大井川知事と子育て支援や教育負担の軽減、安心安全の県土づくりなどの七項目の政策協定を結び、知事とともに新たないばらきづくりに挑みます。

今年も茨城国体や東京オリンピック、県北芸術祭の準備、世界湖沼会議の開催、そして東海第二原発の運転延長・再稼働問題など、乗り越えなくてはならない課題が山積みです。私ども公明党は、本年も現場第一主義で「任んでいる人が日本一幸せな県・いばらき」をつくるため全力で働いてまいります。

日本共産党



日本共産党
茨城県
議員団代表
山中 たい子

県民の暮らし第一 憲法をまもる共同を発展させる

昨年は、安保法制廃止、立憲主義を取り戻す運動で、市民と野党の共同が困難を乗り越え発展しました。

憲法をまもり生かしましょう。改憲反対の一点で、「九条改憲NO!全国市民アクション」が呼びかけた「三千万人署名」を集めるため、立場の違いや思想・信条の違いをこえ力を合わせます。保育所・学童保育の待機児解消は少

子化対策の柱です。医療的ケア児や重度心身障害児など困難を抱える子ども達やさまざまな障害に苦しむ人とその家族への支援は待ったなしです。介護や医療の充実も切実な要望です。国民健康保険の財政運営が県に一本化されるもとの、七割の市町村で国保税引き上げの予想です。国・県の財政負担を求めます。農業や商業の発展に力を尽くします。

常陸那珂港や八ッ場ダム・霞ヶ浦導水事業などの大型開発優先への税金投入を改め、暮らし優先にまわすことです。東海第二原発は、十一月に運転開始から四十年となります。日本原電は、さらに二十年運転期間の延長を規制委員会に申請しました。原発事故時の三十km圏九十六万人の避難計画に実効性はなく、廃炉にすべきです。今年もよろしくお願いいたします。